

日時：2013年9月25日(水) 10:00~16:45  
場所：大阪大学中之島センター 2、3、4、7階  
[http://kansai.ipsj.or.jp/2013sibutaikai\\_kaisai/](http://kansai.ipsj.or.jp/2013sibutaikai_kaisai/)

## 特別講演一覧

社会知能 / 10:00~11:00 <7F講義室703>

### 胎児・新生児シミュレーションを用いた構成論的発達研究

#### 【講演概要】

胎児から新生児に至る発達は何に導かれているのだろうか？ 遺伝か生得かは古来興味の対象であったが、我々は、計算機シミュレーションを用いてヒトの発達原理を自己組織化や創発の観点から検討している。胎児・新生児全身筋骨格シミュレータは、人体の全身を模した物理シミュレータで、198本の筋や1500個以上の触覚細胞が全身に配置されている。

このシミュレータを用いる事で、これまで想像するしか無かった発達メカニズムについて、物理的な妥当性を検討する事ができる。これまでに超音波により観察された胎児の行動発達が触覚刺激に導かれて自己組織的に現れるという仮説をシミュレーション上で再現している。本発表では胎児や新生児の認知・運動発達研究の構成論的アプローチの考え方や技術的な内容について報告する。

講師：森 裕紀 氏 大阪大学 大学院工学研究科 知能・機能創成工学専攻 助教

1997年 岐阜工業高等専門学校電気工学科入学2002年同高専卒業。  
2002年 豊橋技術科学大学 工学部 情報工学課程編入学。2004年同大学卒業。  
2004年 豊橋技術科学大学大学院 工学研究科 情報工学専攻 博士前期課程入学。2006年同大学院修了。  
2006年 東京大学大学院 情報理工学系研究科 知能機械情報学専攻 博士後期課程入学。2009年同大学院単位取得退学。  
2009年 科学技術振興機構ERATO浅田共創知能システムプロジェクト研究員。2011年博士(情報理工学)取得。  
2011年 大阪大学大学院 工学研究科 知能・機能創成工学専攻 助教。



ものづくり基盤コンピューティング / 14:45~15:45 <7F講義室703>

### 超長期保管メモリ、千年メモリの必要性和その課題

#### 【講演概要】

社会が、持続的に発展するには、2つの技術が必要である。一つは、“今の仕事を処理する技術”、一つは“記憶あるいは情報を長期に渡って保管する技術”である。過去において、後者は、紙あるいはフィルムが担ってきた。しかし、この半世紀の“今の仕事を処理する技術”すなわちエレクトロニクス技術の急激な発展のため、大きな危機が生じている。現在、長期に電子データを保管するためには定期的にシステム、媒体ごとの置き換えること(マイグレーション)が唯一の手段である。しかし、大きなコストが発生することと、本質的に脆弱な手段であるため、情報の大規模消失の危機が生じている。今、妥当なコストで千年デジタルデータを保管できる媒体、システムの開発を行う必要がある。現在のデジタルデータ量の爆発的な増大から、2020年には巨大な超長期保管関連の市場が出現することが予想される。

講師：小林 敏夫 氏 神奈川大学 理学部 数理・物理学科 非常勤講師

1972年3月 上智大学 理工学部 物理学科卒業  
1974年3月 早稲田大学 理工学研究科 応用物理学専攻 修士課程修了  
1974年4月 電電公社(現・NTT)入社。主幹研究員として、LSTの技術開発などに携わる。  
1998年4月 ソニーに移り、主幹研究員としてMONOS型不揮発性メモリの技術開発と商品化を担当。  
2001~2003年 千葉大学非常勤講師。  
2009年4月 ソニー定年退職  
2010年4月より現職。  
2010年~2012年 電子情報通信学会 超長期保管メモリ時限研究専門委員会 委員長  
2010年~2013年 社団法人日本工学アカデミー「記憶の保管性」プロジェクト幹事  
2012年11月 JST研究開発研究センターが開催した科学技術未来戦略ワークショップ「超長期保存メモリ・システムの開発」でコーディネーター。



ネットワークサービス / 15:45~16:45 <3F講義室304>

### ネットワークゲームを支える仮想世界錬金術ーゲーミフィケーションと行動誘導技術ー

#### 【講演概要】

ソーシャルゲームビジネスの爆発的拡大は現実世界的には無価値のデジタルデータを販売して利益を作り出す仮想世界錬金術の成立を連想させる。仮想世界錬金術はユーザの行動を変え、夢中にさせる、課金する、という三段階から成り立つ。その多くは行動誘導技術に帰着する。また、ゲームのメカニズムをそれ以外に応用するゲーミフィケーションもその原理の多くは行動誘導技術と関係している。いくつかのゲーム設計原理を例に行動誘導技術とは何かを解説する。また、行動誘導技術を応用したサービスの開発理論(サービスニクス理論)やソーシャルエクスペリエンスデザインについて述べる。

講師：山上 俊彦 氏 株式会社ACCESS ソフトウェアソリューション本部 シニアスペシャリスト

東京大学大学院理学系研究科修士課程修了。電電公社、NTTデータを経て、現在(株)ACCESS ソフトウェアソリューション本部シニアスペシャリスト。1995年情報処理学会山下記念研究賞受賞。ISO SC18/WG4国内主査、情報処理学会グループウェア研究会幹事、W3C XHTML Basic 1.0 Co-Editor、WAP Forum WML2.0 Editorなどを務めた。応用層国際標準化、携帯電話インターネット国際標準化、に従事。2012年度東京大学情報理工学研究科非常勤講師兼任。著書「仮想世界錬金術」(2011.2)「成功のための“習慣獲得術”」(2012.12)。博士(工学)(香川大学)。



※○は登壇者、◎は学生奨励賞対象登壇者、★はキャリアエクスペローラー

**A:ものづくり基盤コンピューティング 会場: 7F 講義室703**

講演番号	発表題目	著者
14:45~15:45 ◆ものづくり基盤コンピューティング 特別講演 <座長:神原 弘之(京都高度技術研究所)>		
「超長期保管メモリ、千年メモリの必要性とその課題」		
小林 敏夫(神奈川大学)		

※○は登壇者、◎は学生奨励賞対象登壇者、★はキャリアエクスペローラー

**B:ソフトウェアとアルゴリズム 会場: 4F 講義室406**

講演番号	発表題目	著者
10:00~11:00 ◆ソフトウェアとアルゴリズム1 <座長:山口 一章(神戸大学)>		
B-01	臨床検査技師国家試験対策自主学習ソフトの開発	○★神崎 秀嗣(京都大学ウイルス研究所)、菅原 良(秋田大学教育推進総合センター)、藤田 洋一、石田 洋一(京都保健衛生専門学校)
B-02	Finding Witnesses for Stability in the Hospitals/Residents Problem	◎Minseon Lee, Shuichi Miyazaki, Kazuo Iwama (Kyoto University)
B-03	NEATにおけるトポロジ距離、種ランク付けを用いたNiching手法	◎楠本 直輝、THAWONMAS Ruck(立命館大学)
B-04	「アンパンマンはじめてしょうぎ」の完全解析	○塩田 好、石水 隆、山本 博史(近畿大学)
休憩(11:00~11:15)		
11:15~11:45 ◆ソフトウェアとアルゴリズム2 <座長:宮崎 修一(京都大学)>		
B-05	Ms. Pac-Man シミュレータにおけるリスク戦術の使用頻度のオンライン調整	○中村 昌弘、白川 哲夫、THAWONMAS Ruck(立命館大学)
B-06	ポテンシャル流れを用いたStarCraftでの戦闘ユニットの配置	◎Tung Nguyen, Kien Nguyen, THAWONMAS Ruck(立命館大学)

**C:社会知能 会場:7F 講義室703**

講演番号	発表題目	著者
<b>10:00~11:00 ◆社会知能 特別講演 &lt;座長:米澤 朋子(関西大学)&gt;</b>		
<b>「胎児・新生児シミュレーションを用いた構成論的発達研究」</b>		
<b>森 裕紀(大阪大学)</b>		
休憩(11:00~11:15)		
<b>11:15~12:00 ◆社会知能1 &lt;座長:住岡 英信(ATR)&gt;</b>		
C-01	エージェントのオブジェクト所有感の表現における表情の有効性	○★古山 卓弥、吉田 直人、米澤 朋子(関西大学)
C-02	Webブラウジングにおけるエージェント介在型の対話インタラクションの検討	○★河村 絢香、中谷 友香梨、米澤 朋子(関西大学)
C-03	自らの状況をネットに書き込むぬいぐるみデバイスの提案 ~ ユーザの日常吐露パートナーとしての基礎的検討~	○★馬瀬 春香、吉田 侑矢、米澤 朋子(関西大学)
休憩(12:00~13:15)		
<b>13:15~14:00 ◆社会知能2 &lt;座長:港 隆史(ATR)&gt;</b>		
C-04	日常生活行動センサデータの低ビット符号化	◎★槇野 圭一、角所 考、岡留 剛(関西学院大学)
C-05	遺伝子の値をファジィ数に拡張したGAのニューロエボリューションへの応用	○岡田 英彦(京都産業大学)
C-06	区間入出力ニューラルネットの進化的学習	成田 圭我、○岡田 英彦(京都産業大学)
<b>14:00~14:30 ◆社会知能3 &lt;座長:米澤 朋子(関西大学)&gt;</b>		
C-07	鳥肌による不随意表現を用いたロボットとのコミュニケーションの提案	○★孟 曉順、米澤 朋子(関西大学)
C-08	土偶の変遷に基づくコミュニケーションメディアのミニマルデザインの検討	○住岡 英信(ATR)、幸田 健介(大阪大学/ATR)、西尾 修一、港 隆史(ATR)、石黒 浩(大阪大学/ATR)

**D:並列分散処理 会場:4F 講義室406**

講演番号	発表題目	著者
<b>13:15~14:00 ◆並列分散処理 &lt;座長:岡部 寿男(京都大学)&gt;</b>		
D-01	CUDAにおける離散ウェーブレット変換のin-place計算のためのデータ並べ替え手法	◎生澤 拓也、伊野 文彦、萩原 兼一(大阪大学)
D-02	ベクトル演算機能の活用による画像のフィルタリングの高速化	○★山野 光範、陳 謙(和歌山大学)
D-03	学校でのBYODを前提としたスマートデバイスの活用	○和田 康宏、大西 克実(大阪市立大学)、中野 秀男(帝塚山学院大学 ICTセンター)

**E:ネットワークサービス1~4 会場:3F 講義室301**

講演番号	発表題目	著者
<b>10:00~11:00 ◆ ネットワークサービス1 &lt;座長:小枝 正直(大阪電気通信大学)&gt;</b>		
E-01	MMORPGのコミュニケーションへの絵文字チャットの適用に関する提案	◎川津 美菜穂、伊藤 淳子、宗森 純(和歌山大学)
E-02	ペルチェ素子を用いたゲーム向けインターフェースの開発	◎★木村 鷹、伊藤 淳子、宗森 純(和歌山大学)
E-03	ユーザの空き時間に登録を促す用例対訳登録支援システムの開発	◎西田 祥子(和歌山大学)、福島 拓(静岡大学)、吉野 孝(和歌山大学)
E-04	利用者のタスク管理意識に影響を与えるTo-Doリスト管理Webシステムの開発	◎★谷岡 遼太、吉野 孝(和歌山大学)
<b>休憩(11:00~11:15)</b>		
<b>11:15~12:00 ◆ ネットワークサービス2 &lt;座長:梅津 高朗(大阪大学)&gt;</b>		
E-05	Web上のレシピ情報を用いて自動生成した栄養計算用料理データの分析	◎川島 基子、吉野 孝(和歌山大学)、江上 いずず(名古屋文理大学)、岡本 和士、藤原 奈佳子(愛知県立大学)、石川 豊美(名古屋文理大学)、紀平 為子(関西医療大学)、入江 真行(和歌山県立医科大学)、伊井 みず穂(関西医療大学)
E-06	イベント開催支援のためのソーシャルメディアからのユーザ特性の抽出と可視化	◎池上 智彦、高田 秀志(立命館大学)
E-07	フォトウォークが外出のきっかけに及ぼす影響	◎桑野 優基、伊藤 淳子、宗森 純(和歌山大学)
<b>休憩(12:00~13:15)</b>		
<b>13:15~14:30 ◆ ネットワークサービス3 &lt;座長:高田 秀志(立命館大学)&gt;</b>		
E-08	現場でのアイデア収集に重点をおいた発想支援システムの開発	◎阪本 浩基、伊藤 淳子、宗森 純(和歌山大学)
E-09	現地での取材から発想・会議までを一貫支援する手法に関する提案	◎五郎丸 秀樹、伊藤 淳子、宗森 純(和歌山大学)
E-10	位置情報と拡張現実を用いた情報提供システムの提案	◎★山口 涼太、伊藤 淳子、宗森 純(和歌山大学)
E-11	位置情報と速度情報の特性に基づくプローブデータ補正手法の検討	◎赤井 優真、廣森 聡仁(大阪大学)、梅津 高朗(滋賀大学)、山口 弘純、東野 輝夫(大阪大学)
E-12	利用者からの提供情報を用いた在室管理システムの評価	◎★田中 優斗(和歌山大学)、福島 拓(静岡大学)、吉野 孝(和歌山大学)
<b>休憩(14:30~14:45)</b>		
<b>14:45~15:15 ◆ ネットワークサービス4 &lt;座長:内山 彰(大阪大学)&gt;</b>		
E-13	P2Pネットワークにおける経路長あるいは経路表サイズの最大値を柔軟に設定可能な経路表構築方式の提案	◎呉 承彦、安倍 広多、石橋 勇人、松浦 敏雄(大阪市立大学)
E-14	移動経路を動的に決定するメッセージフェリーを用いた効率的なメッセージ配送手法	◎畑中 健作、松浦 知史、猪俣 敦夫、藤川 和利(奈良先端科学技術大学院大学)

**E:ネットワークサービス5~8**

**会場:3F 講義室304**

講演番号	発表題目	著者
<b>10:00~11:00 ◆ ネットワークサービス5 &lt;座長:松浦 敏雄(大阪市立大学)&gt;</b>		
E-15	フリック入力による日本語非定型文のキーストローク認証	◎泉 将之、佐村 俊治(明石工業高等専門学校)、西村 治彦(兵庫県立大学)
E-16	ソフトウェア不正アップロード者追跡のための実行形式ファイルへの電子透かし挿入	◎★壺内 将之、岡部 寿男(京都大学)
E-17	ネットワーク境界部におけるBrute Force攻撃に対する防御システムの構築	◎★寺本 達弥(和歌山大学)、川橋 裕(和歌山大学システム情報学センター)
E-18	中小企業向け災害即応型簡易データバックアップシステムの検証	○吉田 昌弘、大西 克実(大阪市立大学)、中野 秀男(帝塚山学院大学)
<b>休憩(11:00~11:15)</b>		
<b>11:15~12:00 ◆ ネットワークサービス6 &lt;座長:藤川 和利(奈良先端科学技術大学院大学)&gt;</b>		
E-19	スマートフォンを活用した災害時における建物内の歩きやすさ推定手法	◎佐藤 匠、廣森 聡仁、山口 弘純、東野 輝夫(大阪大学)
E-20	ライフログデータを活用した非常時安否確認支援システムの提案	◎池端 優二、塚田 晃司(和歌山大学)
E-21	災害直後のオフライン環境を想定した常時利用型災害時支援システムの提案	◎★濱村 朱里(和歌山大学)、福島 拓(静岡大学)、吉野 孝、江種伸之(和歌山大学)
<b>休憩(12:00~13:15)</b>		
<b>13:15~14:30 ◆ ネットワークサービス7 &lt;座長:塚本 昌彦(神戸大学)&gt;</b>		
E-22	遠隔診断における注目領域観察時の利用を目的とした全体画像と詳細画像の同時利用機能	◎野口 卓馬、井口 信和(近畿大学)
E-23	電子メールの大量送信を選択的に制限する中継システム	◎津崎 善晴、松本 亮介(京都大学)、小谷 大祐(京都大学/日本学術振興会特別研究員)、宮崎 修一、岡部 寿男(京都大学)
E-24	コンテンツオリエンテッドネットワークにおけるWebサーバの負荷分散手法の提案	◎★丹羽 徹(和歌山大学)、川橋 裕(和歌山大学システム情報学センター)
E-25	実ネットワークの再現を可能とするOpenFlowを用いたネットワーク運用管理支援システムの開発	◎堤 啓彰、井口 信和(近畿大学)
E-26	内部処理の可視化を可能とする仮想マシンを用いたソフトウェアルータの開発	◎宮本 拓、井口 信和(近畿大学)
<b>休憩(14:30~14:45)</b>		
<b>14:45~15:30 ◆ ネットワークサービス8 &lt;座長:吉野 孝(和歌山大学)&gt;</b>		
E-27	省電力モバイルセンシングのための近隣デバイス間連携機構	◎樋口 雄大、山口 弘純、東野 輝夫(大阪大学)、高井 峰生(Space-Time Engineering, LLC/大阪大学/University of California, Los Angeles)
E-28	Reteアルゴリズムを用いた家庭内エネルギー管理システムにおける処理割り当て方式の検討	○川上 朋也(神戸大学)、義久 智樹(大阪大学サイバーメディアセンター)、藤田 直生、塚本 昌彦(神戸大学)
E-29	道路交通の信号制御システムの開発	○★清水 光(福山大学)、榎田 温子(弓削商船高等専門学校)
<b>休憩(15:30~15:45)</b>		
<b>15:45~16:45 ◆ ネットワークサービス 特別講演 &lt;座長:宗森 純(和歌山大学)&gt;</b>		
<b>「ネットワークゲームを支える仮想世界錬金術ーゲーミフィケーションと行動誘導技術ー」</b>		
<b>山上 俊彦(株式会社ACCESS)</b>		



**F: 言語情報処理 会場: 4F 講義室406**

講演番号	発表題目	著者
<b>14:15~15:30 ◆ 言語情報処理1 &lt;座長:橋本 力(NICT)&gt;</b>		
F-01	Wikipediaの言語間差異情報を用いた文化差検出手法の提案	◎★諏訪 智大(和歌山大学)、宮部 真衣(京都大学)、吉野 孝(和歌山大学)
F-02	ロボットの視覚と固有受容性感覚からの動作指令の意味獲得	◎松岡 啓、深田 智、尾関 基行、岡 夏樹(京都工芸繊維大学)
F-03	係り受け関係の階層化に基づいた構文木モデルによる構文解析手法の提案	◎大野 一樹、波多野 賢治(同志社大学)
F-04	Language-independent Approach to High Quality Dependency Selection From Automatic Parses	○Gongye Jin、Daisuke Kawahara、Sadao Kurohashi(Kyoto University)
F-05	ノイズ重畳モデルにおける混合比の動的決定方法	○政田 悠佑、山本 博史(近畿大学)
<b>休憩(15:30~15:45)</b>		
<b>15:45~16:30 ◆ 言語情報処理2 &lt;座長:鳥澤 健太郎(NICT)&gt;</b>		
F-07	やさしい日本語文と機械翻訳文の理解のしやすさにおける日本語習熟度の影響	○吉野 孝(和歌山大学)、宮部 真衣(京都大学)
F-09	Large-scale acquisition of entailment pattern pairs	○Julien Kloetzer、鳥澤 健太郎、Stijn De Saeger、佐野 大樹、橋本 力、後藤 淳(独立行政法人情報通信研究機構)
F-08	テキストマイニングを用いた、CRMユーザ事例の表現の検討	○★一松 達矢、辻 光宏(関西大学)

**G:メディア・インタラクション1~5**

**会場:7F 講義室702**

講演番号	発表題目	著者
<b>10:00~11:00 ◆メディア・インタラクション1 &lt;座長:松下 光範(関西大学)&gt;</b>		
G-01	遠隔操作型アンドロイド「テレノイド」の遠隔操作とその訓練	○中道 大介(大阪大学/ATR)、西尾 修一(ATR)、石黒 浩(大阪大学/ATR)
G-02	クライアントの情動変化に基づき心の見守りを行う対話エージェントの提案	◎高 潔、佐野 睦夫、足立 奈生、早川 小太郎、宮脇 健三郎(大阪工業大学)
G-03	遠隔認知リハビリテーション環境でのロボット能動視覚による認知障がい者の危険行動予測	◎大井 翔、佐野 睦夫、西口 敏司、宮脇 健三郎(大阪工業大学)
G-04	対話エージェントによる生活エピソード抽出と振り返りコミュニケーション支援	◎松谷 雄太、佐野 睦夫、藤原 健太、昇 優真、宮脇 健三郎(大阪工業大学)
<b>休憩(11:00~11:15)</b>		
<b>11:15~12:00 ◆メディア・インタラクション2 &lt;座長:宮脇 健三郎(大阪工業大学)&gt;</b>		
G-05	質問回答サイトにおける回答文の客観的評価の推定	◎横山 友也、宝珍 輝尚、野宮 浩揮(京都工芸繊維大学)
G-06	チャットやTwitterなどのテキストコミュニケーションへのサウンドグラムの適用	○泉谷 潤一、米澤 朋子(関西大学)
G-07	写真をトリガとした横断的な情報アクセスの支援	◎広川 英智、田中 和広、松下 光範(関西大学)
<b>休憩(12:00~13:15)</b>		
<b>13:15~14:30 ◆メディア・インタラクション3 &lt;座長:宝珍 輝尚(京都工芸繊維大学)&gt;</b>		
G-08	博物館のコンテンツ推薦システムにおけるユーザ評価の自動化手法	◎安藤 優平、THAWONMAS Ruck(立命館大学)
G-09	多波長の赤外光を用いたインタラクティブ・サーフェスのための情報貼付方式に関する研究	◎★濱村 康司、田中 琢磨、松下 光範(関西大学)
G-10	ジェスチャ操作による対数美的空間曲線創成システムの開発	◎★池田 聡一郎、原田 利宣(和歌山大学)
G-11	振付デザイン用舞踊エージェントによる困難性の身体表現の効果	○吉田 侑矢、米澤 朋子(関西大学)
G-12	ユーザーの「好きなモノと実現したいコト」に対する関係性の研究	○鶴 鉄雄、大西 克実(大阪市立大学)、中野 秀男(帝塚山学院大学)
<b>休憩(14:30~14:45)</b>		
<b>14:45~15:45 ◆メディア・インタラクション4 &lt;座長:川上 肇(龍谷大学)&gt;</b>		
G-13	水中での髪の毛のシミュレーション	◎雪本 英輝、岩崎 慶(和歌山大学)
G-14	Poemotion図形とフィジカルコンピューティング	○★森 直道、西 康生、郭 清蓮(金沢工業大学)
G-15	遺伝的プログラミングを用いた排他制御プログラムの自動生成	○西郷 達也、宝珍 輝尚、野宮 浩揮(京都工芸繊維大学)
G-16	遺伝的アルゴリズムによる確率学習に基づいたベイジアンネットワークモデル構築手法	○福田 翔、吉廣 卓哉(和歌山大学)
<b>休憩(15:45~16:00)</b>		
<b>16:00~16:45 ◆メディア・インタラクション5 &lt;座長:岩崎 慶(和歌山大学)&gt;</b>		
G-17	ライブログ映像活用のための表情強度を取り入れた表情表出シーン検索	○森國 淳司、野宮 浩揮、宝珍 輝尚(京都工芸繊維大学)
G-18	変換を考慮した時系列データの高速類似検索	○岩下 俊一郎、宝珍 輝尚、野宮 浩揮(京都工芸繊維大学)
G-19	独立部分空間での画像記述を用いたロバスト画像照合	○藤喜 紘、川上 肇(龍谷大学)

※○は登壇者、◎は学生奨励賞対象登壇者、★はキャリアエクスプローラー

**G:メディア・インタラクシオン6 会場:7F 講義室703**

講演番号	発表題目	著者
<b>16:00~16:45 ◆メディア・インタラクシオン6 &lt;座長:原田 利宣(和歌山大学)&gt;</b>		
G-20	拡張現実感を用いた耳介再建位置決定支援システムの開発	○★渡邊 隆介、原田 利宣(和歌山大学)、山田 朗(大阪医科大学)
G-21	患者情報を表示する際のマトリックス型UIの有効性について	○藤田 健一郎、大西 克実(大阪市立大学)、竹村 匡正(兵庫県立大学)、黒田 知宏(京都大学医学部附属病院)、中野 秀男(帝塚山学院大学ICTセンター)
G-22	光線空間法によるデンタルトモシネシス画像の生成	○★垣内 友希、蚊野 浩(京都産業大学)

※○は発表者、◎は学生奨励賞対象発表者、★はキャリアエクスプローラー

**ポスター発表 会場:2F 講義室201**

講演番号	発表題目	著者
<b>12:00~14:00 ◆テーマ複合 (B:ソフトウェアとアルゴリズム、C:社会知能、E:ネットワークサービス、G:メディア・インタラクシオン)</b>		
B-101	多数目的最適化問題に対する差分進化の適用	○今村 晃啓、田川 聖治(近畿大学)
B-102	島モデルに基づく差分進化の性能評価	○中島 健一、田川 聖治(近畿大学)
B-103	ロバスト最適化問題に対する差分進化の適用	○末永 大樹、田川 聖治(近畿大学)
B-104	StarCraftにおけるポテンシャルフィールドを用いた敵陣地への侵入経路の偵察	○川瀬 清人、THAWONMAS Ruck(立命館大学)
C-101	ニューラルネットワークを用いた模倣文字(漢字)の筆圧による個人識別	○井阪 陽平(近畿大学)
E-101	携帯端末が操作不能な被災者位置確認システム	○筑紫 啓雄、福山 俊一、小枝 正直(大阪電気通信大学)
E-102	ナップザックアルゴリズムを用いた家電への電力割当の制御	○森本 尚之、藤田 有、吉田 雅昭、吉水 宏幸、滝山田 昌文、明比 輝一、田中 真実(株式会社エネゲート)
G-101	車輪型移動ロボットのための直感的操作を可能とする遠隔操縦インターフェースの開発	◎★赤阪 拓也、中村 恭之(和歌山大学)

**★キャリアエクスプローラーマークについて**

著者名の先頭に付いている★マークはキャリアエクスプローラーマークです。情報処理学会関西支部では、本大会が就職を控えた学生やポスドクを始めとする求職側と、企業・大学・研究所などの求人側との出会いの場となるよう、キャリアエクスプローラーマーク(以下CEマーク)を導入しています。発表者である求職中のポスドクまたは学生が、本人の希望により、CEマークを大会プログラムや発表スライド、ポスターに書き記しています。このマークを付ける事で、求職中の発表者は気軽にキャリアエクスプローラーであることを表明でき、求人側は効率的に声をかけて頂く事が出来ます。

CEマークについて、詳しくは下記URLよりご覧下さい。  
[http://kansai.ipsj.or.jp/sibutaikai\\_ce/](http://kansai.ipsj.or.jp/sibutaikai_ce/)